

中学校武道授業実施報告

実施日：2023年1月11日（水）13日（金）17日（火）19日（木）27日（金）計5回

場 所：新庄市立日新中学校（山形県）

対 象：1年生 × 3クラス 約95名 / 2年生 × 3クラス 約90名

指導者：緑川 寿幸（山形県空手道連盟 副理事長・普及指導委員長）

梁瀬 伸祐（ 同 常任理事・ジュニア強化部長）

井上 大輔（ 同 理事・普及指導委員会委員）

2023年1月に新庄市立日新中学校で1・2年生を対象に空手道授業を行いました。これは武道授業推奨モデルの一環として同校から依頼があり、山形県空手道連盟が指導者を派遣する形で実施に至りました。同校での空手道授業は初めてでクラス数や人数も多いため、授業日程や内容を担当教諭と打合せを重ねながら準備をしました。学校側からは空手道授業を通して『楽しんでやり遂げる生徒の様子を見たい』と希望があり、そのことも考慮して授業の計画を立てました。指導は山形県空手道連盟の 緑川 寿幸 普及指導委員長と梁瀬伸祐 常任理事・ジュニア強化部長、井上大輔 普及指導委員の3名で担当しました。

山形県の県北・最上地区は山形県内で唯一中体連に空手道専門部があり、日新中学校空手道部も加盟しています。同校空手道部はこれまでに全国大会で活躍する多くの選手を輩出しており、そのため生徒や教員は空手道に対して比較的理解があると感じました。

授業は礼法、基本技術（立ち方、構え、拳の握り方、受け、突きなど）を中心に行い、最終日には基本形を集団演武することを目標に設定しました。形は、全空連発刊の「空手道の手引き」にある基本形を行いました。

形の授業では、慣れない姿勢と動作に戸惑いながらも繰り返し取り組み、生徒が互いにアドバイスしながら習得に励みました。また、集団演武の課題では4～5人でグループをつくり、調和した演武ができるように話し合ったり練習を繰り返したりと協調性が育まれていくのが印象的でした。最後にはどのグループも堂々とした演武をみせてくれました。

また、他校の授業でも好評だった“新聞紙割り”も行いました。渾身の突きで「パン！」と勢いよく新聞紙が割れるたびに歓声を挙げる生徒の姿からは、楽しみながら行っている様子や達成感やうかがえました。指導する側としても空手道授業の中で『楽しむ』という事を伝えることができたと感じています。

今回の授業を通して、空手道を「何となく知っている」という生徒たちが実際に体験することで、より理解を深め身近に感じる武道となったのではないかと考えます。また、今後さらに関心を持ってくれればと存じます。

今後空手道授業が多くの中学校で正課の武道授業として実施されることを願い、本連盟としても引き続き空手道の普及に取り組んでいく所存です。

山形県空手道連盟

普及指導委員長 緑川 寿幸